

## 廃棄学校制服の有効利用へ

### 繊維リサイクル技術研究会

#### 中学生から多彩なアイデア募る

アパレル関連企業や故繊維業者、学識者などで構成する(一社)日本繊維機械学会・繊維リサイクル技術研究会(委員長・木村照夫京

都工芸繊維大学名誉教授)は、廃棄学校制服の有効活用による衣類

ごみ減量化に取り組んでいる。2018年11

月28日には、京都市立大原野中学で環境学習

盗品その他財産に対する罪に当たる行為によって領得された物(盗

品)

をめぐって、同研究会では、京都市

は、同市立京都御池中

学校から不要とな

った学生服を回収

し、反毛綿や不織

布に加工。生徒の

アイデアを生か

し、ペンケースと

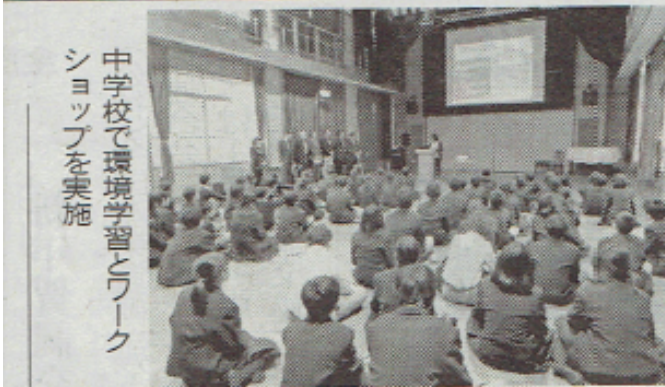
防災ずきんを作成

した。今年度はさ

らに協力校を増や

し、将来的には全

国への水平展開を



中学校で環境学習とワークショップを実施

授業とワークショップを行い、リサイクル品のアイデアを募った。

同研究会では、京都市

は、同市立京都御池中

学校から不要とな

った学生服を回収

し、反毛綿や不織

布に加工。生徒の

アイデアを生か

し、ペンケースと

防災ずきんを作成

した。今年度はさ

らに協力校を増や

し、将来的には全

国への水平展開を

目指している。

ごみ減量推進会議の

「市民からの提案によ

るごみ減量モデル事業

助成金」を受け、環境

負荷軽減と環境教育、

雇用創出につながるモ

デル事業の構築・検証

を進めてきた。17年度

は、同市立京都御池中

学校から不要とな

った学生服を回収

し、反毛綿や不織

布に加工。生徒の

アイデアを生か

し、ペンケースと

防災ずきんを作成

した。今年度はさ

らに協力校を増や

し、将来的には全

国への水平展開を

目指している。

今回の大原野中学では、1年生2クラスの約70人を対象に環境学

統合型産業廃棄物業務パッケージソフトウェア  
**SMS 産廃ソフト**

クリックカチッ!

詳しくはネットで

導入済ユーザー件数2,328社(2018年3月現在)

株式会社エスエムエス お問い合わせ: 073-435-4111  
ホームページ: <http://www.sanpai.com/>

習授業を実施。「環境問題」と「リサイクル」について考える」をテ

ーマに、同研究会のメンバーが地球温暖化などの環境問題や市内のごみ排出量、さまざまなリサイクルの方法を講義した。

授業の後半には、制服を粉碎した繊維くずを加工した樹脂シートと紙を配付。12グループに分かれて、「この材料をどう活用できるか」を討議したところ、スリッパや財布、うちわ、水筒カバーなど、多彩なアイデアが集まった。今後、京都女子大学の学生の協力を得てデザインを具体化し、福祉作業所で製品化する予定だ。